

ンプ」を実施し（実際に参加したのは20名の少年）、その翌年1908年1月に「スカウティング フォア ボイズ」創刊号を発刊した。これは隔週発行の雑誌で、1冊4ペンスであった。創刊された直後から少年達の大ベストセラーとなって、少年達は、その方法にしたがって自分達で班を作り、ボーイスカウトとしての活動を始め、現在のように世界の主要なボランティア活動に発展した。

以下、年表で示すと……

1908年（明治41年）1月28日、ロンドンにスカウト運動の事務所を置く。

1911年（明治45年）、日本の東郷元帥、乃木大将と会見する。

1912年（大正元年）世界旅行の際、4月16日、日本を訪問する。10月30日、オレブ・セントクライヤー・ソアムス女史と結婚。

1916年（大正5年）ガールガイド（日本のガールスカウト）の組織が生まれる。夫人がその委員長となる。

「ウルフカプス・ハンドブック」出版。ウルフカブ（日本のカプスカウト）が発生する。

1917年（大正6年）「ガールガイディング」出版。

1919年（大正8年）指導者訓練のために、ギルウェルパークにトレーニングセンターを開設。その後、世界の指導者訓練のメッカとなる。

1920年（大正9年）第1回世界ジャンボリー開催。少年達より「チーフスカウト・オブ・ザ・ワールド」（世界の総長）の栄号を贈られる。

「Aids to Scoutmastership」（隊長の手引）を発刊。

1921年（大正10年）5月17日、午後6時30分、昭和天皇とロンドンで会見。バーデンパウエルは昭和天皇にイギリスボーイスカウトの最高栄誉である「シルバー・ウルフ章」を献上。準男爵になる。

1922年（大正11年）「ローバーリング・トゥ・サクセス」を発刊。

1923年（大正12年）ビクトリア大十字勲章を授けられる。

トロント、マックギル、オックスフォードの各大学より法学博士号を贈られる。

1927年（昭和2年）1928年度のノーベル平和賞の最適人者として、ノーベル委員会に推薦される。結果としては授賞されなかった。

1929年（昭和4年）男爵となる。（Lord Baden-Powell of Gilwell）

イギリスの習慣として、爵位の後に地名をつけるので、多くの人は「マフェキングの英雄」として当然マフェキングとすべきだと主張したが、バーデンパウエルはボーイスカウト運動の性質から「ギルウェル」とした。

ロード・バーデンパウエル・オブ・ギルウェル

1931年（昭和6年）ケンブリッジ大学より法学博士号を贈られる。

夫人は「世界ガールガイド総長」に推される。

1939年（昭和14年）ノーベル平和賞が贈られることに決定する。しかし、皮肉なことに、1939年にはヒットラーの進撃でノーベル平和賞は受賞者なしとなる。

1941年（昭和16年）1月8日、午前5時45分、東アフリカのケニアのニエリ野荘にて、一生を終わる。（84歳）